

2020 年度実施概要

学校名

新潟市立越前小学校

採択活動名

海の恵みを生かした循環型社会へのはじめの一步～自然の豊かさと環境問題についての体験を通して～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 地域の宝 浜っ子味噌造り	3 年生	総合的な学習の時間
2. 地域の宝 私たちの浜を守ろう	4 年生	総合的な学習の時間
3. 海の恵みから循環型社会を考える	5 年生	総合的な学習の時間

取り組みの概要

1. 「地域の宝 浜っ子味噌造り」(3 年生)

昔は、各家庭や地域の人たちが協力して造っていた味噌造りを体験。味噌造りに必要な材料や工程を、地域の方々から学び、実際に味噌造りを行った。今年度は、地域で麴造りを行っている方から米麴の仕込み方を教えてもらったり、例年購入していた食塩だけでなく、地域の方から海水から採りだした塩を分けさせていただいたりして、材料を変えることで、出来上がる味噌がどのように違うのかについて学習を進めた。



「米麴の仕込み」



「塩造り見学」



「味噌造り体験」

2. 「地域の宝 私たちの浜を守ろう」(4 年生)

4 月に海岸に遊びに行き、浜に打ちあがっているゴミの現状を知り、まずごみの種類や量について調査を始めた。次に、地元で漁師をしている方に講師に来ていただき「打ち上げられたゴミの多くは、信濃川から流れ着いていること」や「漁をしながら、ゴミを回収していること」を知った。信濃川河川事務所に見学に行き、信濃川に流れてくるゴミの種類や量を調べた。その事実を基に、コミュニティ協議会と連携し、海岸清掃を行った。



「海岸調査」



「漁師の方と授業」



「全校海岸清掃」

3. 「海の恵みから循環型社会を考える」(5年生)

5年生に、3年生が「できるだけ地元のものを使った味噌を造りたい」と考えていることを伝え、味噌造りに必要な塩を、4年生時に清掃した海の水から造ることを目的とした。まず海水から塩を採り出す蒸発実験を行った。100mLの海水から、僅か3gしか塩ができないことを知った。また、僅か3gを採り出すために、多くの時間や燃料が必要なことを知り、別な方法がないか本やインターネットなどで調べた。伊豆大島の塩を精製する会社の自然エネルギーを利用した方法を知った。また、3年生時の理科の学習を思い出し、黒色のビニール上で蒸発させる「太陽光塩パネル」を試作した。その後、自然エネルギーを利用したビニールハウスで「太陽光塩パネル」で濃い海水を作りだした。最終の仕上げは、塩を精製する会社のアドバイスを受け、燃料を使って塩をにがりに分け、塩を精製し、10kgの塩を造った。この塩を、次年度味噌造りをする現2年生に引継いだ。



「海水の蒸発実験」



「塩分濃度計で計測」



「太陽光塩パネルの実験」



「塩の採取」



「ビニールハウス塩造り」



「塩の精製」